

全健保組合の2022年度予算状況が公表されました

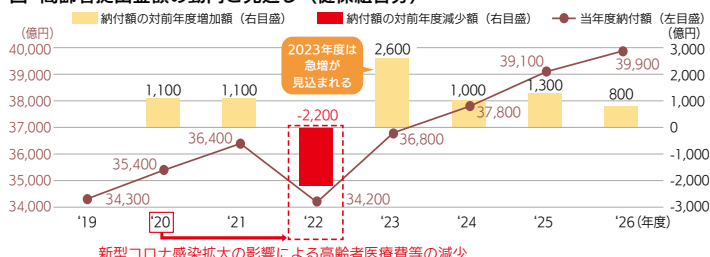
健康保険組合連合会（以下健保連）が発表した2022年度健保組合予算早期集計結果の概要によると、健保組合全体での経常収支は▲2,770億円の赤字となることがわかりました。

■拠出金は2023年度に2,600億円の増加が見込まれる

2022年度予算は、経常収入8兆3,869億円（対前年度比2,653億円増）に対し、経常支出8兆6,638億円（同394億円増）となり、▲2,770億円の赤字となる見込みです。2021年度と比較すると、赤字額は2,259億円減少しています。

赤字額が減少した要因について健保連は、高齢者医療制度への拠出金が3兆4,514億円（同2,080億円減）と大きく減少したことを挙げています。しかし、これは2020年度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、高齢者医療費が一時的に減少したことで精算戻り等の影響を受けた、2022年度限りの一時的かつ極めて異例なケースとしています。

図 高齢者拠出金額の動向と見通し（健保組合分）



※加入者数（2022年度概算要求ベース）と標準報酬総額（2021年度見込み）を固定したごく粗い試算である。
 ※当年度納付額は、当年度概算額に2年前の精算額を加えて算出する。

出典：健康保険組合連合会「令和4年度健康保険組合の予算早期集計結果（概要）」について（2022年4月28日）より作成

今後は、拠出金減少の反動や、団塊の世代の高齢化による後期高齢者支援金の増加など拠出金の急増は必至であり、2023年度は2,600億円の増加が見込まれています（左図参照）。

現役世代が減少するなか、2025年には団塊の世代がすべて後期高齢者（75歳以上）となり、2042年には高齢者人口がピークを迎えると推計されています。「給付は高齢者中心、負担は現役世代中心」の構造の是正が重要であり、全世代型の社会保障制度へと転換することが不可欠です。

家族向け「オンライン禁煙プログラム」開始します!!

なんと無料!

禁煙成功率 91.1%

スマートフォンで完結

テレビ電話で医師が診療、お薬はご自宅に

喫煙は本人の健康のみならず、受動喫煙による家族の健康にも大きな影響が出ることが知られています。ぜひ、ご参加ください。

- 参加費：通常 60,500 円の禁煙プログラムが、自己負担 0 円
- 申込期限：2022 年 9 月 1 日～2023 年 2 月 28 日
- 対象：20 歳以上の日本 IBM 健保加入者家族
（任意継続、特退被保険者も含む）で禁煙したい方
- 募集人数：50 名（定員になり次第終了）
- 申込方法：日本 IBM 健保 HP「禁煙プログラム」をご参照ください。



「医療費と給付金支給額」が2022年8月にリニューアルしました!

すこやかサポートPlusにてご利用いただいております「医療費と給付金支給額のお知らせ」が2022年8月にリニューアルしました。

- 更新タイミングが毎月10日から2日になりました。
- 表示が「通知年月」から「診療年月」に変わりました。
- e-Taxでの医療費控除データのダウンロード機能を追加しました。

なお、初回ログイン時にはメールアドレスの登録が必要です。詳しいご利用方法は健保HP「医療費と給付金支給額のお知らせ」をご参照ください。

ご参照：<https://www.ibmjapankenpo.jp/member/outline/expense.html>

医療費と給付金支援額

医療費やジェネリック医薬品の情報、給付金の支援額はこちらから確認



●「My Health」へのご意見・お問い合わせは、当健保組合ホームページの「Webでのお問い合わせ」まで